

マンフリータイムズ

9月号 県立はまゆう支援学校

今年の2学期は、台風12号による大雨が、県内各地に大変な被害をもたらし、本校に通う児童生徒や職員の中にも、被災された方や通学等に影響の出た方が多数いるなかでのスタートとなりました。被害に遭われた方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

★ 台風12号がもたらしたもの ★

本校の校区は、上富田町、田辺市、白浜町、すさみ町、みなべ町となっていますが、寄宿舎が設置されていることから、校区外の生徒も本校で学んでいます。また、隣接する「知的障害児施設南紀あけぼの園」で生活しながら本校に通っている子どもたちもあり、その出身地は県下に広く分布しています。

その中で、自宅が浸水した人、通学経路が土砂崩れ等で寸断され、大きく迂回しなければ登校できない人など被害はかなりの広範囲に及びましたが、本人や家族の方に怪我等が生じなかったことは、幸いでした。

3月11日の東日本大震災で、私たちは大きな衝撃を受け、防災についての意識が高まって来つつある時でしたが、今回の災害で、更に身近に危険を感じ、防災に関する備えの大切さを強く感じました。

今後、防災体制の更なる整備、防災教育、防災研修、避難訓練等に関して、より高い意識を持って取り組みを深めていきたいと思っています。

★ 地震避難訓練 9月14日(水) 2限 ★

校内緊急地震速報を活用し、震度6弱の地震が起こったという想定で、避難訓練を行いました。本校には、自閉症の子どもも多く、最初の放送で異変を感じ部分的にパニックとなる場面もありましたが、机の下に一次避難し、その後、二次避難として落ち着いてグラウンドに集まることができました。

その後は、点呼をとり、一人ひとりの無事を確認する中で、怪我をして校内に取り残されている人の捜索、救出活動といったことも盛り込んだ訓練となりました。

はまゆう支援学校は、地域の避難所としての指定は受けていません。二次避難した後の居場所について、海から離れているため、津波の危険性は低いものの、周囲には大きな池があり、すぐ近くには小さいながらも岡川という川が流れているといった立地条件から、いつまでもグラウンドにいるわけにはいかないという課題があります。

次回、1月の避難訓練では、3次避難として、より安全な場所への移動について更に取り組みを進めていきたいと考えています。

★ 育友会研修部 学校見学(和歌山ろう学校) ★

はまゆう支援学校では、現在、聴覚学級が2クラスあり、2名の児童が学んでいます。知的障害を主とした児童生徒の中にも、聴覚に関する障害のある児童生徒もあり、紀南地方で聴覚教育を担う拠点となっているところです。

そんな中、9月8日(木)に、県下で唯一の聴覚障害教育を専門とした和歌山ろう学校(和歌山市)の見学に行ってきました。

小、中、高等部での教科の学習や自立活動の取り組み、寄宿舎の様子など、落ち着いた雰囲気の中で学ぶ子どもたちの姿や、教育活動について見聞を拓けることができました。

★ 10月の行事予定 ★

○運動会：10月2日(日)。予備日は10月9日(日)です。

○和歌山県支援学校体育連盟陸上競技大会：

10月26日(火)、和歌山市紀三井寺競技場で開催されます。予備日は11月2日(火)。

○中学部修学旅行：10月26日(木)～28日(金)、2泊3日で福岡方面に行きます。